

# 令和7年度事業報告

## 概要

日本が抱える人口減少や少子化問題により、超高齢社会が急速に進行するなかで、当センターにおいても同じ状況の下、年齢に関係なく元気で働く意欲のある高齢者に就業機会を提供し、高齢者の生きがいや居場所づくりによって「生涯現役社会」を実現し高齢者が益々活躍できる環境を構築することで、地域全体の活性化に貢献できるよう、会員の拡大・就業機会の確保を重点課題として、会員並びに役職員が一体となってシルバー人材センター事業における諸活動を実施いたしました。

令和7年度においては、新型コロナウイルスの影響がほぼ沈静化し、通常の業務ができるようになり、昨年度に引き続き会員数は対前年度38名の増となり回復の兆しが見えてきましたが、依然として基幹産業の不振が続くなか、長期にわたり契約を継続していた発注先での契約終了や規模縮小の影響によって、就業延日人員・契約金額が前年度実績を下回る結果となりましたが、受注件数は前年度を上回ることができました。

### 事業概要

項目	令和6年度実績	令和7年度実績	前年度差異
会員数	440人	478人	38人(8.6%)
受注件数	682件	716件	34件(5.0%)
就業延日人員	23,521人	21,627人	△1,894人(△8.1%)
契約金額	148,003千円	144,058千円	△3,945千円(△2.7%)
就業率	61.8%	54.6%	△7.2ポイント

## 事業の内容

### 1 安全・適正就業の推進

草刈業務シーズン開始前に安全就業研修会を実施するとともに、安全・適正就業強化として安全就業推進委員会を中心に、「安全は無理せず 焦らず 油断せず」の全国統一スローガンに基づき、会員並びに発注先にも安全就業取り組みへの理解と協力を要請しました。

また、会員の健康管理・増進を図るため釧路市健康推進課健康づくり係の協力により「健康一口メモ」を会報に掲載し周知に努めました。

更に、シルバー人材センター適正就業ガイドラインの周知活動を継続し、受注管理を徹底し高齢者には向かない仕事は受注しないこととするとともに、ローテーション就業による適正な就業管理にも努めました。また、冬季間における凍結路面での転倒による傷害事故2件、草刈機石飛散による賠償事故1件が発生いたしました。

### 2 会員の拡大

会員の拡大を図るため、役職員並びに会員が新規会員獲得のための口コミによる入会促進活動を継続して実施、さらにハローワーク釧路に開設された「生涯現役支援窓口」や釧路市、民間の就労支援団体などにも協力を要請し、リーフレットの備え付けを実施したほか、10月には北海道シルバー人材センター連合会が主催する高齢者活躍人材育成事業に協力し、職場見学・高齢者向けセミナー・入会説明会を開催しました。更に1月～3月には新規入会促進キャンペーンを昨年引き続き実施し、新規会員の掘り起こしに努めました。

また、入会希望者に対してはコロナ禍後も随時入会受付を継続するとともに、デジタル化時代に対応するためWeb入会を推奨することにより、簡単・迅速に入会手

続きが進むよう対応いたしました。

### 3 就業機会の確保

釧路市やハローワーク釧路、民間の就労支援団体などとも連携することで、働く意欲のある高齢者のための新たな就業先の情報や開拓などの取り組みをおこないましたが、釧路地域における産業界の不振、特定職群における会員不足等が中々解消されず、残念ながら受注を断らざるを得ない事例も散見されました。

### 4 会員組織体制の活性化

地域班・地域ブロックとしての役割の整備や、女性会員増強と活躍の場や交流の場確保と提供、職群班のグループ就業推進などに取り組みましたが、各地域の会員数に偏りが表れ始め抜本的見直しが必要と判断し、令和7年度をもって一旦地域班等の活動を終了することといたしました。また、「いきいき 女性の会」理事及び女性事務局職員が札幌市で開催された全シ協主催「シルボンヌほっかいどう大会」に出席し、道内各センターの女性会員の活躍事例など今後の取り組みの参考となる貴重な発表会などに参加いたしました。

### 5 シルバー事業の普及啓発活動の推進

センターホームページやSMSなどインターネットを活用した情報の発信や、ハローワーク・釧路市・民間職業相談所などに10月の普及啓発促進月間期間中、リーフレットの配布やオリジナルポケットティッシュを事務所来訪者に配布するなど、シルバー人材センター事業のPR活動をおこないました。

また、高齢者などの家庭から依頼が多い掃除・除草・庭木の手入・粗大ごみ搬出などの生活支援業務について、会員の協力の下できる限り受注し就業機会を提供いたしました。

### 6 事業運営の効率化を図るデジタル化推進への取り組み

シルバー人材センター事業を取り巻くデジタル化の推進に対応するため、センターと会員とのコミュニケーションツール普及として会員対象のスマホ教室開催と同時に、業務効率化に向けた会員専用アプリ利用促進への取り組みをおこないました。

また、事務局体制については、センター事業の環境変化に対応し公益社団法人としての事業運営に係る事務の適正化・効率化や情報分析力向上のために、北海道シルバー人材センター連合会による研修会、講習会に積極的に職員を参加させ、専門的知識向上への取り組みをおこないました。

### 7 一般労働者派遣事業の推進

適正就業ガイドラインに基づいて、請負・委任にはなじまない事案の点検を行い、北海道シルバー人材センター連合会の実施事務所として、一般労働者派遣事業を実施し、高齢者の多様な就業形態に対応する取り組みをおこないました。

**年齢別正会員数（令和8年3月31日現在）**

区 分	男 性	女 性	合 計	構 成 比
60歳～64歳	2	7	9	1.9%
65歳～69歳	32	16	48	10.1%
70歳～74歳	73	41	114	23.8%
75歳～79歳	114	49	163	34.1%
80歳以上	103	41	144	30.1%
合 計	324	154	478	
平均年齢	77.4歳	76.2歳	77.1歳	